

2023 9.7<sup>木</sup>-9.9<sup>土</sup> IIBMP2023

2023 年日本バイオインフォマティクス学会年会

第12回生命医薬情報学連合大会

Informatics in Biology, Medicine and Pharmacology 2023

# 発表者マニュアル (現地登壇)

## ◆ 共通のご案内

使用PCは持参くださるようお願いいたします。後述にもありますが、ご自分の発表前にPCの接続確認を必ず行ってくださるようお願いいたします。

当日来場されましたら受付横に設置いたします「座長・講演者・発表者受付」へお立ち寄りいただき、座長・演者受付をお願いいたします。また、該当講演・発表時間の10分前には会場前方の演者席にお越しいたいただき、スタッフにお声がけ下さい。時間までにお越しにならなかった場合には演者不在として順番の入れ替えなどをする場合がありますので予めご了承下さい。

## ◆ 講演者へのご案内

- ・ 使用言語は日本語及び英語です。スライドは英語を推奨いたします。
- ・ 行動規範を遵守してください。
- ・ 事前に接続確認を行います。セッション10分前までにご自身のパソコンを持って会場前方の演者席にお越し頂き、演台近くにいる担当者にお声がけください。講演本番で接続不良等になった場合には順番を変更することがあります。あらかじめご了承下さい。
- ・ 口頭発表賞の選考は、プログラム委員および指定された選考委員により行います。
- ・ 座長の指示にしたがい、予定された発表時刻を厳守していただけますようお願い致します。

口頭発表	:	22分 (発表17分 + 質疑応答5分)
ハイライトトラック	:	22分 (発表17分 + 質疑応答5分)
スポンサーセッション	:	22分 (発表 + 質疑)
ワークショップ	:	オーガナイザーにお任せします

## ◆ 座長へのご案内

- ・ 座長の方はセッション開始10分前までに会場にお越しくください。
- ・ セッションの進行と時間管理は座長に一任致します。終了予定時刻超過にご注意願います。
- ・ スポンサーセッションでは質疑応答の時間をどの程度確保するかは、発表者にお任せしております。持ち時間は22分です。

年会期間中、ご担当のセッションにおいて、座長は行動規範に違反する行為に対し注意・警告する権利を持ちます。また、警告したにもかかわらず対象者が違反行為を続けた場合には、座長の判断により退出を求めることができます。会議の進行に支障をきたす場合には、会場におります年会スタッフにお知らせください。

## ■発表時間

プログラムにより発表時間が異なりますので、抄録集をご参照ください。  
残り時間については、会場係から残時間を表示させたipad等のタブレット画面を提示しますので、参考にしていただきながら発表/質疑応答を終了して下さい。

## ■スクリーンのアスペクト比について

ご使用になるスライドは16：9でご作成下さい。（4：3でも映像は出ますが少し小さくなります。）

## ■ご発表時

演台にHDMIケーブルがありますので、そちらを接続してください。

**変換コネクタが必要な場合は、かならず演者自身にてご用意をお願いします。**

※トラブル防止のため、正規品のご利用をお勧めいたします。

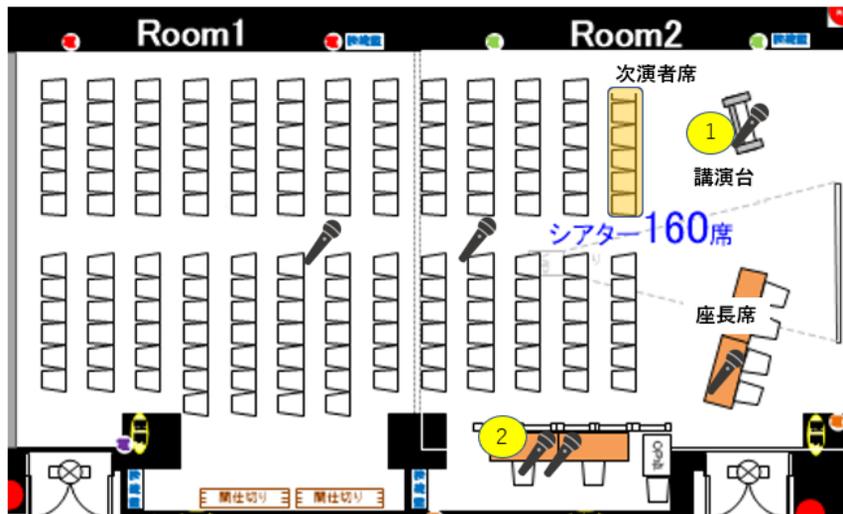
※接続不良が継続する場合は、発表順を後ろにずらせて頂きます。

## ■座長へのご案内

当日は会場係が時間管理、会場照明などのお手伝いをさせていただきます。

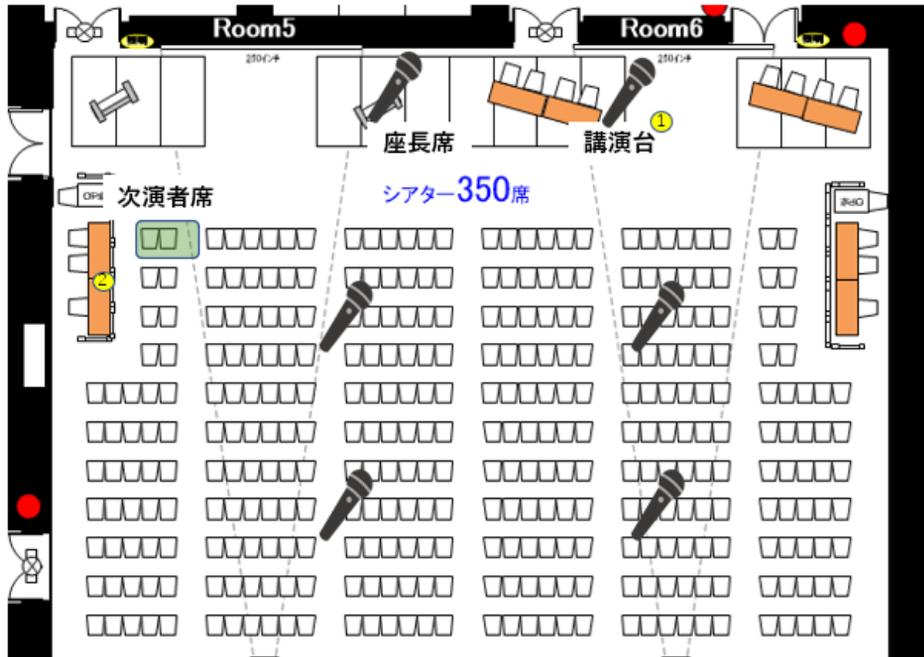
（残時間表示につきましては、上記のとおりです）

質疑応答は会場固定マイクにしていますのでマイクランは発生しない予定ですが、状況に応じて臨機応変に対応させていただきます。



	ご使用いただける機材	設置位置	本数
映像 ※プロジェクター投影用	HDMIケーブル	演台	1本
	HDMIケーブル	OP卓	1本
音響	有線マイク	演台／座長席	各1本
	ワイヤレスハンドマイク	フロア(スタンド置き)	4本
照明	ご講演中は下記2パターンの照明のみご利用いただけます。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本番明かり①（明）</li> <li>・ 本番明かり②（暗）</li> </ul> ※細かいご調整が不可となります為、予めご了承ください。		
<b>【備考】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワイヤレスハンドマイクは4本までご自由にお使いいただけます。</li> <li> <span style="color: red;">【！】</span> 基本上記の2本は質疑応答時に使用できるようフロアへ設置しております ご講演で使用される際はそこから抜いてご使用ください。                     </li> <li>・ 投影するPCは上記に記載している①または②よりHDMIにて接続してください。</li> <li> <span style="color: red;">【！】</span> HDMI端子が無い場合は変換ケーブルのお持込みをお願いいたします。                     </li> <li>・ <span style="color: red;">【！】</span> 動画など音声有りのデータがある際は、 ご講演前に必ずOP卓にいるスタッフへお声かけください。</li> </ul>			





	ご使用いただける機材	設置位置	本数
映像 ※プロジェクター 投影用	HDMIケーブル ①	演台	1本
	HDMIケーブル ②	OP卓	1本
音響	有線マイク	演台/座長席	各1本
	ワイヤレスハンドマイク	フロア(スタンド置き)	4本
照明	ご講演中は下記2パターンの照明のみご利用いただけます。		
	・本番明かり①（明） ・本番明かり②（暗） ※細かいご調整が不可となります為、予めご了承ください。		
<b>【備考】</b> ・ワイヤレスハンドマイクは4本までご自由にお使いいただけます。 <b>【！】</b> 基本上記の4本は質疑応答時に使用できるようフロアへ設置しております ご講演で使用される際はそこから抜いてご使用ください。			
・投影するPCは上記に記載している①または②よりHDMIにて接続してください。 <b>【！】</b> HDMI端子が無い場合は変換ケーブルのお持込みをお願いいたします。			
・ <b>【！】</b> 動画など音声有りのデータがある際は、 ご講演前に必ずOP卓にいるスタッフへお声かけください。			

## 著作権に関する重要なお案内

### ★重要なお注意★

※受信映像や発表支障の保存（画面のスクリーンショット含む）や録音、録画、再配布は、学会事務局が特別に許可を出した場合の除き、厳禁です。

必要な場合は、発表者はもちろんのこと、主催者等、すべての関係者に許可を得てください。

#### ■引用について

引用「引用」とは、例えば自説を補強するために自分の論文の中に他人の文章を掲載しそれを解説する場合のことをいいますが、法律に定められた要件を満たしていれば著作権者の了解なしに引用することができます(第32条)。

この法律の要件ですが

- [1]引用する資料等は既に公表されているものであること、
- [2]「公正な慣行」に合致すること、
- [3]報道、批評、研究などのための「正当な範囲内」であること、
- [4]引用部分とそれ以外の部分の「主従関係」が明確であること、
- [5]カギ括弧などにより「引用部分」が明確になっていること、
- [6]引用を行う必然性があること、
- [7]出所の明示が必要なこと(複製以外はその慣行があるとき)（第48条）の要件を満たすことが必要です(第32条第1項)。

[2]と[3]の要件については、判例で明確になっており、少なくとも自分の著作物と他人の著作物が明瞭に区分されていること(引用部分の明確化)、自分の著作物が主体であり、引用する他人の著作物は従たる存在であること(主従関係)、引用しなければいけない相当の理由があること(必然性)などが必要です。

●ARO協議会は教育機関ではなく、講演自体も教育を目的としてなされるものではないため、著作権法35条の対象（学校その他の教育機関）とはならないと考えられます。

●肖像権・パブリシティ権・所有権・敷地管理権 人の写真を掲載する場合、本人の許可を取るか、顔がわからないよう加工してください。（肖像権）芸能人や著名人の写真は一切使用しないでください。（パブリシティ権）神社・寺・仏閣、美術品、などは自分が撮影した写真や映像であっても使用しないでください。（所有権・敷地管理権）

●論文とは異なり単行本の図や表をそのまま引用する場合は注意してください。図や表は出版社が作成して、出版社が著作権を有しているケースが多々あるので、文章の著者から許諾を得ただけでは図や表を配信に使用できない場合もございます。

●本の表紙や絵は、出版社に伺いを立ててから条件に従って使用してください。